

福祉協力員

見守りの輪

広めよう



川越町社協では、各地区の公民館や児童館等で活動を行う「生活・介護支援サポーター」と隣近所、組程度の範囲の見守り、声かけ訪問活動を行う「福祉協力員」を養成し、活動にご参画いただくことで地域のつながりづくりの更なる推進を図っています。

川越町の各地区においては、昔から隣近所同士の見守りや支え合いが日常的に行われており、身近な範囲で、心配な方を気にかけて、お宅を訪問して声をかけてもらったり、様々なお世話をいただいていることもよく耳にします。この温かいつながりを10年後、20年後も保っていきたい。そして、誰もが安心して暮らせる地域づくりをしたい。そんな思いで、この取り組みを進めています。

福祉協力員って

身近な地域で気になる方や心配な方を把握し、声掛け、見守り、訪問を行う「地域の見守りボランティア」です。

活動内容

隣近所や組程度を主な範囲とし、次の活動を行います。

- 支援が必要な方の把握
- 支援が必要になると思われる方を早期に発見し予防に繋げる
- 民生委員、生活・介護支援サポーター等との間での情報共有

見守りって

隣近所でこんな「気になること」ありませんか？

「あれっ？」という気づきが大切です。



あれっ？

夜になっても電気がつかない



あれっ？

朝になっても雨戸が開いていない



あれっ？

新聞や郵便物が郵便受けに何日も溜まっている



あれっ？

最近、外出している姿を見かけなくなった



あれっ？

家の周りをふらふらと何度も歩くのを見かける



あれっ？

急激に痩せてきた気がする不自然な痣が多くなった



あれっ？

寂しそうな表情や姿を見かけるようになった



あれっ？

きれいだった庭の手入れがされなくなった



あれっ？

見慣れない人が家に入出入りするようになった

情報共有について

民生委員



地域の実情や困りごとの把握を行う

生活・介護支援サポーター



研修を修了し、公民館や児童館等で地域活動を行う

社協職員



様々な年代の方に対しての相談や援助活動を行う

民生委員、生活・介護支援サポーター、社協職員等が一堂に会し、活動の中で気になる方、心配な方の早期発見、予防的対応、制度・専門的な支援につなげるなどそれぞれの役割・活動の中でみんなで話し、考えられるようにしています。

福祉協力員になるには

毎年開講している「生活・介護支援サポーター養成講座」と「福祉協力員養成講座」を受講された方の中から登録申請していただいた方に、社会福祉協議会会長から委嘱します。

地域の福祉（＝しあわせ）の推進の一環として、この取り組みを進めていますが、より充実したものにしていくために、ひとりでも多くの方にご参画いただきたいと思います。

生活・介護支援サポーター養成講座を受講されたことはありますか？

YES ↓

NO ↓

福祉協力員養成講座
(全2回)
受講後に社会福祉協議会
会長より委嘱

生活・介護支援サポーター養成講座
(全5回)
+
福祉協力員養成講座(全2回)
受講後に社会福祉協議会会長より委嘱

受講に要件は
ございません!
どなたでも
お気軽に
ご受講下さい

活動のポイント

- ① 生活のリズムの中で!
“定期的に 継続的に”
- ② チームワーク・パートナーシップで!
“民生・児童委員や社協は仲間です。”

活動の第一歩は日常的な見守りです。
普段の生活をする中で、無理をせず、
出来ることから始めましょう

活動に困った時は一人で解決しようとせず、
民生・児童委員や社協職員へご相談ください

日常生活の中で地域にある“ちょっとした変化”を気にしていただければ十分です!

“気づき”から“支え合い”へ ずっと安心して暮らせる地域づくりを一緒に実現しませんか？

個人情報について



- ・福祉協力員は自らの活動のみで情報収集を行い、その取り扱いについては委嘱する社協から守秘義務を課すことで個人情報保護について担保します。
- ・具体的な支援が必要になった際には要援護者から同意を得て連携を図る等、厚生労働省「福祉分野における個人情報保護に関するガイドライン」に基づき運営します。

養成講座講師からのコメント



コミュニティ（住民）意識の希薄化や核家族化や高齢世帯の増加など、家庭機能の弱体化により、孤立死やセルフネグレクトなどの社会的孤立の問題も社会的問題として深刻化しています。

福祉協力員は、ご近所の困り事を発見し、専門職につないでいく、とても大切な役割です。

このため、川越町の地域福祉推進のために、福祉協力員の皆さまが「助け上手 助けられ上手」になって、ご活躍いただけることを心から期待しています。

大阪教育大学 教授
新崎 国広 先生



川越町では、「ふ」だんの、「く」らしの、「し」あわせを実現する福祉（ふくし）のまちづくりをすすめています。その中心は、地域に住む一人ひとりの住民です。地域（地区）には、様々な方がいて、様々な暮らしがあり、その中で多くの悩みや苦しみをもっている方もいます。福祉協力員は、住民の皆さんが、心豊かに暮らせるように、ちょっとした見守り活動をおこなう、住民視点のボランティアさんです！「ふくし」のまちづくりへ向けて、ちょっとしたできることを、一緒に探してみませんか？

ユマニテク短期大学 講師
田村 禎章 先生

お問い合わせ

社会福祉法人 川越町社会福祉協議会

〒510-8123 三重郡川越町豊田一色314(いきいきセンター内)

電話：059-365-0024 FAX：059-365-2940

HP：<http://www.kawagoe-shakyo.com/>